

令和 6 年南伊豆町議会 12 月定例会の開会にあたり、令和 6 年 9 月定例会以降の主な事項について行政報告を申し上げます。

1 協定締結について

(1) カーボンニュートラルの実現に向けた包括的な連携協力に関する協定

令和 6 年 10 月 17 日、東京電力パワーグリッド株式会社伊豆支社と「カーボンニュートラルの実現に向けた包括的な連携協力に関する協定」を締結いたしました。

本協定では、両者が連携・協力してカーボンニュートラルの推進及び災害に強いまちづくりに取り組むことを主な目的としており、全国的に取り組みが進められるグリーントランスフォーメーションの推進に繋がるものであります。

また、本協定においては「地球温暖化対策の取組に関すること」「カーボンニュートラルの実現に向けた取組のトータルコーディネートに関すること」「エネルギーの地産地消・観光への転用・活用等の導入推進に関すること」「再生可能エネルギーの利活用や脱炭素社会に向けたエネルギーへの転換（電化等）に関すること」「環境・経済・社会の統合的取組の推進に関すること」「地域の防災機能強化などレジリエンスの強化に関すること」「町民への意識啓発や環境教育

の推進に関する事」などについて、相互に連携・協力して取り組むことで地球温暖化の防止に対する意識醸成と、脱炭素社会・環境型社会の実現による協定目的の達成を目指していくものであります。

今回の協定締結により地域全体でのカーボンニュートラルの実現に向けてこれまでの取り組みを一層強化するとともに、新たな取り組みにもチャレンジしてまいります。

(2) 東京大学大学院農学生命科学研究科と静岡県南伊豆町との連携・協力に関する協定

令和6年10月31日、「東京大学大学院農学生命科学研究科と静岡県南伊豆町との連携・協力に関する協定」を締結いたしました。

本協定では、両者が連携・協力して自然資源を生かした町の発展や東京大学における教育・研究を推進していくことを目的としております。

また、東京大学とは平成30年に町の農林業の発展等を目的とした協定を締結し、これらに基づく取り組みを進めてまいりましたが、本協定の目的を町全体での活動に広げるほか、連携項目においても脱炭素社会の実現や本町の自然資源の保全・活用を主な連携事項とする新たなものといたしました。

なお、東京大学大学院農学生命科学研究科は本町において演習林

及び研究施設を有しており、これまでも大学生による学習支援活動や森林資源活用に関するご助言などもいただいておりますが、今後は新協定に基づくなかで公開講座などを通して東京大学が保有する知的資源を町民に還元していただくほか、町の自然資源や社会的資源の活用による研究や学びの共創^{きょうそう}などにも鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

2 台湾トップセールス（美しい伊豆創造センター）

11月4日から7日にかけて一般社団法人「美しい伊豆創造センター」の理事・首長による台湾トップセールスに参加してまいりました。

当該事業は伊豆地域への台湾人観光誘客及び日台間の相互交流の促進を図ることを目的として昨年度に引き続き実施されたもので、台湾最大の旅行博「2024 台北国際旅行博」における静岡県ブース等の視察、静岡県台湾事務所との情報交換、日本台湾交流協会・台湾観光協会への表敬訪問、賀茂地区内事業者と友好協定を締結している台湾メトロ社への表敬訪問、猫空ロープウェイの視察なども実施いたしました。

昨年10月には本議会の日台友好親善議員連盟の発足、本年5月には台湾からの教育旅行の受け入れなどもありましたが、今般の訪台

をもって更なる基盤固めとし、新たなるインバウンドの獲得と台湾とのより一層の交流の深化に努めてまいります。

3 第1回南伊豆町みちくさぼちぼちフルマラソン

11月17日、青野川ふるさと公園をスタート・ゴール地点として南伊豆町みちくさぼちぼちフルマラソンが開催されました。

本大会は昨年度に終了した「みちくさウルトラマラソン」の後継大会として企画されたもので募集定員を上回る535名が出走いたしました。

また、コース内に設置された12か所のエイドステーションには、100人を超えるボランティアの方々にご協力を賜り、心温まる「おもてなし」が提供されたほか秋晴れのもと起伏に富んだ山間部や美しい海岸線など本町ならではの特色あるコースをご堪能いただきました。

本大会の運営に多大なるご尽力を賜りました大会関係者やボランティア、沿道での熱いご声援や交通規制などにご理解ご協力を賜りました町民の皆さまに心より感謝申し上げます。

4 第8弾みなみいず応援プレミアム付商品券の発行

国においては、未だ回復基調の低迷する我が国の経済状況を憂い

先般の衆院選以前から景気回復策の実施を示唆しておりましたが、先月 22 日に開催された臨時閣議において待望されていた物価高への対応を柱とする新たな総合経済対策が決定されたところであります。

このようななかで、本町においてもその状況は同様であるとの判断のもと町内経済の活性化を目途に「第 8 弾みなみいず応援プレミアム付商品券」の発行準備を進めております。

今回も 1 世帯あたり 3 万円分の商品券を半額の 1 万 5,000 円で販売し商品券の総額で 9,600 万円分を予定するもので、今般の一般会計補正予算第 6 号に必要経費を計上いたしました。

また、本事業において町内経済の立て直し等が急務との判断から「ふるさと応援基金」を活用いたしますが、国の総合経済対策が公表され重点支援地方交付金が交付される見込みが高まったことから概算の交付額を把握次第、躊躇なく商品券発行額の増額を考えてまいります。

これら商品券については販売を来年 3 月、利用期間は 4 月から 6 月末までを予定しており物価高に疲弊する生活者の支援と地域経済の活性化に鋭意取り組んでまいりますので、町民の皆さま並びに本議会のご理解ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

以上で、令和 6 年 12 月定例会の行政報告を終わります。